

令和7年度 ODAIBA イルミネーション実行委員会総会（第1回） 次 第

令和7年8月7日（木）

1. 開会

2. 議事

(1) ODAIBA イルミネーションの企画進捗について 資料1

3. 報告事項

(1) ODAIBA イルミネーション スケジュール予定について 資料2

4. その他

○次回の総会開催について

・実施時期 9月（予定）

・予定内容 ODAIBA イルミネーション キービジュアル等

5. 閉会

ODAIBAイルミネーション実行委員会 名簿

令和7年8月

役 職	所 属	氏 名
委員長	東京都港湾局 臨海副都心まちづくり推進担当部長	渡邊 正也
副委員長	株式会社東京臨海ホールディングス グループ支援部長 (事業調整部長兼務)	荒山 英之
委員	東京港埠頭株式会社 公園事業部長	卯月 秀実
委員	株式会社東京ビッグサイト 理事(総務部長)	加瀬 大輔
委員	武蔵野大学	石橋 直樹
委員	ビー・エム・ダブリュー東京株式会社	佐伯 要 (代理 仲田 一平)

監事	一般社団法人東京臨海副都心まちづくり協議会 事務局長	中林 久則
----	----------------------------	-------

事務局長	東京都港湾局臨海開発部 臨海副都心用地販売担当課長	磯部 光弘
事務局員	東京都港湾局臨海開発部誘致促進課課長代理(にぎわい担当)	
事務局員	東京都港湾局臨海開発部誘致促進課	

ODAIBAイルミネーションの企画進捗について

事業目的

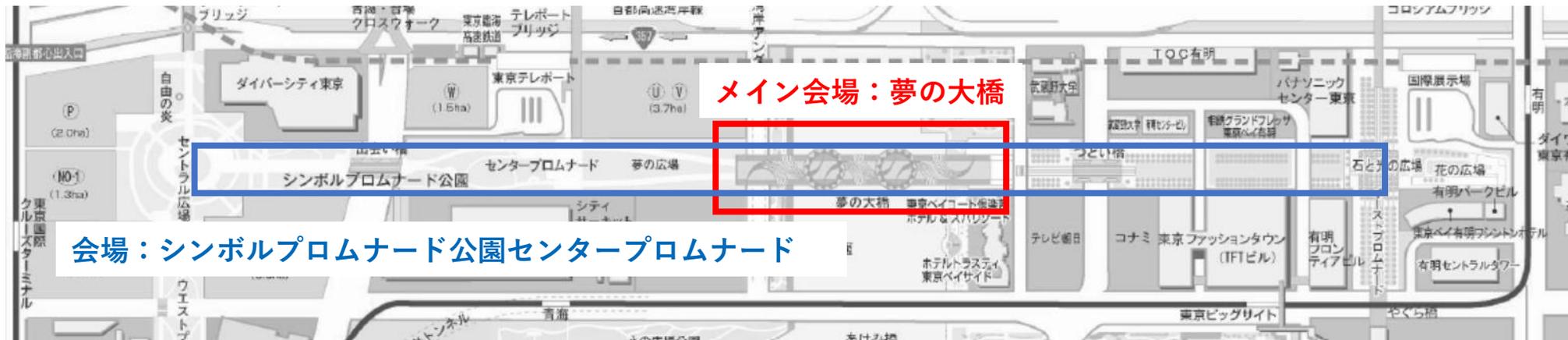
- (1) 臨海副都心の広大な空間を活かし、ナイトタイムにおける光を活用したイベントを軸に様々な事業と連携することで、臨海副都心に大きな回遊ルートを形成する。
- (2) 幅広い年代層に向けて、「楽しさ」「体験」を主な要素とした、それ自体が来訪目的となるようなイベントを実施する。

主催 ODAIBAイルミネーション実行委員会

会場 シンボルプロムナード公園センタープロムナード（メイン会場：夢の大橋）

開催期間 令和7年12月4日(木)～12月下旬（予定）

点灯時間 各日16～21時（予定）



【大切な人と歩きたい場所】

もう一度、若者が憧れ、誰かと一緒に来たいトレンディな場所へ

お台場はかつて90年代トレンディドラマの聖地として、多くの若者が憧れた場所
現在、多様なエンターテインメントと最新の技術が搭載されようとしているこの街は
今も海外や地方の観光客など、多くの人で賑わっている

お台場は健全に観光して、遊べて、交流できる場所
都内から少し離れたように感じる立地にはどこか非日常な雰囲気も感じられる

この人々に与える、トレンディドラマのような非日常感と
安心・安全な交流を想起させるイメージを大事にしながら
人々が楽しく、心を解放しながら交流できるイベントを構築

イルミネーションに囲まれた夜のお台場で
大切な人と公園を歩きながら話したり
ふらっと寄り道してお酒を飲んだり
新しい誰かに出会ったり

スマホや情報に溢れた現代社会の中で
人と人が顔を合わせながら、お互いの笑顔を確認しながら、
ゆっくりと思い思いに歩を進めながら交流を育んでいく
そんなお台場ならではの、「大切な人と歩きたい」場所を生み出します

お台場は、かつての90年代のドラマの聖地のように
もう一度、若者が憧れ、誰かと一緒に来たいトレンディな場所へ

～新しいトレンド→ネオトレンディな場所を目指す～

メインイベントが担う役割は、

「回遊のゴール（集客地点）+回遊のスタート（送客地点）になり、回遊性を高める」こと。

誰もがこの場所を目指し、お台場エリアを歩きたくなるような北極星的な役割を担わせるコンテンツが望ましい。



その時に必要なコンテンツの要素としては、下記の4要素

遠目に見ても目立つ**サイズとインパクト**があること

行きたくなる・やりたくなるようなキャッチーな**アイコン性**があること

何度も訪れたいくなる、誘いたくなる**リピート性**があること

回遊を促進するために人々に周囲のイベントを告知する**インフォメーション**があること

これらの条件を踏まえて、

カップルはもちろん、家族連れや友達同士でもここを目指して「夢の大橋」を歩いてみたいくなるような

“お台場”でしか楽しめない唯一無二なネオトレンディを体現するメインコンテンツを考案。

ODAIBA SEAGULL CLOCK

「東京都の鳥」であり“絆”の象徴「ユリカモメ」を活用し、夢の大橋中央に時計台のようなシンボルを設置
前頁の要素を踏まえ、下記の様々な機能を有するものとする



ムービージェニック



イベントのアイコンとして、
内部に設置された大きな鐘を鳴らすことで
音と光が連動した演出を実施

フリークエンシー



決められた時間や特定の期間のみ見られる
演出により、リピート性を確保

インフォメーション



回遊に繋げるため、内部には12月の
臨海副都心のイベント情報を集約

イベントのメイン会場である、夢の大橋をイルミネーションで染め上げ、
中央に設置したシンボルをめがけて、光のドームをロマンチックに歩いていく体験を提供



「ODAIBA SEAGULL CLOCK」の世界観について

光を放つ自然の森に入り込んでいく、物語の主人公のような感覚を演出

太陽が沈み周囲が暗くなると、宝石のように光を放ちながら出現する自然をモチーフとした不思議な世界

16時から21時の間に出現するこの光る森を抜けると

シンボルであるSEAGULL CLOCKが現れる、SEAGULL CLOCKは

時計の長い針が12を指すと、喜びに満ち溢れ歌を歌い始める

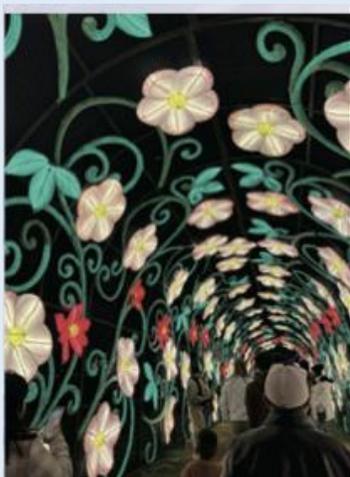
夢の大橋に向かう各ポイントでは、この不思議な森を抜け出し
SEAGULL CLOCKへ誘導する仕掛けやヒントが散りばめられている
それらのヒントを集めると、鐘を鳴らす権利が与えられる

スタンドグラスのように光り輝くSEAGULL CLOCKに設置された鐘を誰かと鳴らすと
鐘を鳴らした人々の今後の幸せを願い、ゆりかもめは羽を広げ、自然は光を強める
そんな特別なロマンチックで 트렌ディな光と音の演出が人々を包み込む





ステンドグラスのような新しい表現で作られたゆりかもめモチーフのキャラクター
花が開くと真ん中に顔があり、歌を歌い出す花のキャラクターが夢の大橋への誘導もしてくれる
迷いの光の森へと誘う、自然がモチーフのゲート



トンネルでは光輝く植物がニョキニョキと伸び始め、迷える森を表現
点々と設置されたキノコや花をモチーフにした不思議でかわいい装飾物

世界観を一緒に作り込んでいくデザイナー



【特殊メイクアップアーティスト：快歩】

King GnuやOfficial髭男dism、きゃりーぱみゅぱみゅ、藤井風など、様々なアーティストから支持を集める特殊メイクアップアーティスト、快歩（KAIHO）。27歳という若さながら従来の特殊メイクアップアーティストの枠を超え、多彩な活躍を見せている。

特殊メイクを軸に、グラフィック、アートディレクション等、独自の世界観を追求した作品制作を行い、その感性を活かして、ミュージックビデオや映画、ライブなど様々なメディアにおいて幅広く活動する。特殊メイクのグロテスクなイメージをあえて制限し、色を効果的に使うことで、ポップかつリアルな独自の世界観を表現している。2020年には、オーストラリアで開催された特殊メイクのコンペティション WBF 2020 World Championships special effects makeupにおいて、世界のTOP3に選出。2024年に「Forbes Japan」が選出する「Forbes Japan Under 30 2024」で「ART&STYLE」に選ばれた。



①イメージパース (正面)



ゆりかもめの造作部分は今後調整 / 上部の時計や中央のトンネル上部は映像LED / 左右のトンネルに絡まるイルミネーションも光の演出あり



左側のトンネルには、鐘があり鳴らすとイルミネーションが演出点灯される



①イメージパース (正面 カラーパターン)



ODAIBAイルミネーション スケジュール予定について

資料 2

時期	イルミネーションイベント	広報	周辺との連携	その他
8月	<ul style="list-style-type: none"> ●デザイン検討、設計 ●テーマ楽曲キャスティング ●協賛企業誘致 	<ul style="list-style-type: none"> ●WEB構成検討 	<ul style="list-style-type: none"> ●連携事業調整 ●近隣との調整 	<ul style="list-style-type: none"> ◆実行委員会 (企画進捗について)
9月	<ul style="list-style-type: none"> ●設計、制作 ●協賛企業誘致 	<ul style="list-style-type: none"> ●WEB制作 ●SNS運用方針検討 	↓	<ul style="list-style-type: none"> ◆実行委員会 (キービジュアル等について)
10月	↓	<ul style="list-style-type: none"> ●広告物（ポスター等）制作 ●プレスリリース第1弾 ●WEB・SNSオープン (10月末～11月初旬予定) 	<ul style="list-style-type: none"> ●連携先によるプレスリリース (10月末～11月初旬予定) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆実行委員会 (プレス等について)
11月	<ul style="list-style-type: none"> ●現場設営 	<ul style="list-style-type: none"> ●広告掲出・PR動画制作 	<ul style="list-style-type: none"> ●連携先によるプレスリリース、広告掲出 	
ODAIBAイルミネーション会期				
12月上旬	<ul style="list-style-type: none"> ●オープニングセレモニー メディア内覧会 	<ul style="list-style-type: none"> ●プレスリリース第2弾 ●PR動画差替え 	<ul style="list-style-type: none"> ●連携事業実施 	
12月中旬	<ul style="list-style-type: none"> ●イルミXmasバージョン開始 	<ul style="list-style-type: none"> ●プレス第3弾 	↓	
12月下旬	<ul style="list-style-type: none"> ●会期終了 		↓	

※予定は状況により変更となる可能性があります。